

大学を支える部署連携のための情報活用

～組織の一体感、情報発信力の強化を目指して～

i

ある日の出来事

- 外部からの問い合わせがあったさい、どの部署が主催・管轄しているのかわからず、長い時間待たせてしまった。
- 教室を管理する部署が異なり、教員や職員がどこに聞きにいけばいいのか迷う。
- 会議で決まった連絡事項が情報伝達者によって情報量や伝達速度に違いがでてしまい、各人の情報の把握量が異なる。

考えてみました。

- 部署間の連携によって解決できる問題がたくさんあるのではないかな？
- 各部署が連携することにより、組織としての一体感をもつことができ、モチベーションアップにもつながる。
- 大学は成熟産業であるため連携しなくてもある程度仕事が進んでしまい、仕事ができているように感じているのではないかな？

からの提案

職員のポータルサイトを作りましょう！！

・コンテンツ

スケジュール

→各部署が1つのカレンダーにスケジュールを記入していく。

教室管理

→教室や会議室などの管理を1つのページで行う
(各部署が1つのページにアクセスするために管理部署がバラバラでも対応可能)

業務記録(マニュアル)

→業務記録(マニュアル)を公開制にする。

会議記録

→議事録や会議資料を閲覧できるようにする。

ポータルの使い方

□ スケジュール

- ・外部からの問い合わせがあった場合、日付やキーワードがわかれば管轄部署を検索することが可能。
- ・学内行事のバッティングを防ぐことができる。

□ 教室管理

- ・教員や職員が1つのサイトを見れば教室の空き状況を把握することができる。また、教室の予約なども可能となる。

ポータルの使い方2

□ 業務記録(業務マニュアル)

- ・他部署の業務の流れがわからない場合や、業務に関する他部署の処理がわかるため、業務を行うさいにあらかじめ準備をすることが可能。
 - ・引継ぎなどの業務のやり取りがスムーズになり、業務の簡略化が可能。
- CRM(カスタマー・リレーションシップ・マネジメントシステム)を使用したFAQの作成につなげる。**

□ 会議

- ・議事録や会議資料を即時に閲覧できるので、全職員が素早く行動を起こせる。
- ・情報伝達者の裁量による伝達不足などを防ぎ、紙の削減にもなる。

課題点

□ ルール作り

様々な部署が入力することを考えるとフォーマットや入力ルールの整備が必須である。また、使われるため、使い続けられるための工夫をしなければならない。

- ・PC起動時に強制的に起動させる(スタートアップ)
- ・カレンダー式
- ・入力する手間を省く
- ・各部署の業務に組み込む
- ・人事考課に参入する
- ・フィードバックの仕組みを取り入れる
- ・大学の規模や組織についてカスタマイズできるようにする

廣井のまとめ

□ 連携することによるメリット

1. 業務効率の向上
2. 組織の風通しが良くなる
3. アイデアが集まる
4. 自ら行っている業務の位置づけが理解できる。

ポータルサイトを潤滑油として活用する！

ご清聴ありがとうございました。

i